

第46回衆議院総選挙 立候補予定者の皆様へ (1/2)

1、今後の日本の原子力政策について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- 直ちに全ての原発を廃炉にする。
- ・安全の確認された原発のみ稼働させ、10～20年以内に原発ゼロを目指す。
 - ・原発の依存度は下げるが、将来的な原発ゼロには反対。
 - ・原発の推進をはかる。
 - ・どれでもない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

現在、人類は放射能を制御する技術を持っていません。かつ、地震大国日本では、安全性の確保は不可能であり全国どこにも原発立地のための適地はありません。いったん過酷事故が起きれば取り返しのつかない事態となります。

2、北海道電力 泊原子力発電所について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- 直ちに廃炉にする。
- ・道内の電力使用状況に合わせ、安全確認を行いながら再稼働させる。
(年以内に廃炉 / 特定の廃炉期日は設けない) ※いずれかを○でお選びください。
 - ・道内の冬の安定した電力供給のため、今すぐ再稼働すべき。
 - ・どれでもない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

いったん過酷事故がおきれば、30～40キロ圏内は住民の住めない地域となり、北海道の主要産業である農業漁業は壊滅的な被害を受けます。

北海道は自然エネルギーの宝庫です。恵まれた資源を生かして大いに自然エネルギー社会への取り組みを加速すべきです。

3、電源開発による青森県 大間原発の建設再開について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- 直ちに建設を断念すべき。
- ・道南各自治体および北海道への説明をしっかりと行い、慎重に建設の是非を議論すべき。
 - ・建設再開を支持する。
 - ・どれでもない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

大間原発は活断層がありただちに建設を中止すべきです。函館など道南は、大間原発から30～40キロ圏内に入りますが、住民へのまともな説明さえありません。市町村長や漁協が反対しているなか、建設許可はもってのほかです。

花井やす子 9区 日本共産党

第46回衆議院総選挙 立候補予定者の皆様へ (2/2)

4、幌延町の深地層研究センターについて。高レベル放射性廃棄物の最終処分場の有力候補とされていますが、幌延には稚内から続く活断層もありその危険性が指摘されています。この件についてご自身の考えに最も近いものをお選びください。

断固として認められない。

- ・慎重に安全性の確認を行い、道や自治体と議論の上、受け入れの是非を決めるべき。
- ・幌延町の経済発展にも繋がるので、安全性の確認の上で受け入れるべき。
- ・どれでもない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

幌延への核のゴミ持ち込みは反対です。町が文献調査に入ることは最終処分の第一歩となるので反対です。センターの異常な地下水の噴出が適地でないことを証明しています。

5 (1)、道庁前反原発抗議行動について。私たち北海道反原発連合では、毎週金曜夜に道庁北門前にて反原発抗議行動を行っております。約20回続いています。この抗議行動をご存知ですか？また、私たちの行動は原発問題にフォーカスしていますが、市民一人一人が日本の社会の問題に意思表示をすべく行動していることについて、ご意見等ございましたら備考欄にご記入願います。

知っている。

- ・知らなかった。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

首相官邸包囲行動とともに、道庁前行動をはじめ、全国各地に広がっている活動は、原発ゼロをめざす世論と運動に決定的な影響を与えています。思想信条の違いをこえた活動は、新しい社会をめざす運動につながっていくものと確信します。

5 (2)、私たちの道庁前抗議行動に参加したいと思いますか？

- ・参加したことがある (官邸前 / 道庁前 / その他地域にて)

機会があれば参加したい

- ・考えていない
- ・参加したくない。

お疲れさまでした。ご協力に感謝します。

花井やす子 98 日本共産党